

(ご協力いただいたモニター数: 142社、調査時期: 2014年3月25日～31日)

公益財団法人 大阪市都市型産業振興センター 経済調査室
4/2 <http://www.sansokan.jp/tyousa/> tel:06-6264-9816

《2月の景況判断に関する要点》

「消費増税前の駆け込み需要もあって、大幅に上昇」

- 2月の景況(前月比)をみると「上昇・好転」が増加して「下降・悪化」が減少し、DI*は10ポイント以上上昇して+25.4となった。駆け込み需要の影響も相まって、高水準へと上昇(図1)。
- 「上昇・好転」した理由は、「時期的、季節的な要因で」が5割弱で最多、次いで「内需が増大したから」が4割台半ば。また、7%前後で推移していた「その他の要因」が駆け込み需要の影響から14.0%に上昇。他方、「下降・悪化」した理由は「時期的、季節的な要因で」が5割強で突出。次いで、前月まで数%で推移していた「その他の要因」が2割に上昇、原因は増税を見越した受注減や中国の長期休暇(旧正月)などが考えられる(図なし)。
- 3ヵ月後(5月)の見通しは、消費増税開始から2ヵ月目であることから、「上昇・好転」が減少して「下降・悪化」が増加し、DIは大幅に下降するも+1.4とプラス圏に止まっている(図1)。
- 2月の前年同月比をみると、「上昇・好転」が増加して「下降・悪化」が減少し、DIは+31.7へ大幅上昇し、調査開始(2012年8月期)以降の最高値を8ポイント以上更新(図1)。

*DI(Diffusion Index)「上昇・好転」の割合から、「下降・悪化」の割合を引いた数字。景気動向を表す指標のひとつ。

図1 景況判断

